

## 第2回 知的障がい者の高齢期支援について

### ～認知症の特性を有する知的障がい者支援を考える～

#### 1. はじめに・趣旨

平成28年度日本知的障害者福祉協会が行った全国知的障害者施設・事業実態調査報告書によると、障害者総合支援法に基づく各事業所における60歳以上の方が占める割合は、全体の16%となっており、毎年僅かながら増加しているとしています。この実態調査の中で障害者支援施設に対する調査では、高齢化が問題となっていると回答している施設・事業所は80%近くに上り、支援課題が多い事を示しています。

また、他の報告書では知的障害者は健常者と比較して、若年で認知症に罹患する確率が高いことや、知的障害者の3分の2は60歳までに認知症に罹患するとする報告もあり、特にダウン症の人たちの場合は50歳で40%の人が、60歳では70%の人が認知症に罹患しているという研究調査結果も出されています。知的障害者が認知症に罹患すると色々な問題や課題が浮かび上がってきます。それが認知症による中核症状

(脳の神経細胞が壊れることによって、直接起こる記憶障害、判断力の障害、問題解決能力の障害、見当識障害、実行機能障害、失行、失認、失語等)なのか、周囲との関わりの中で起こる行動・心理的症状なのか判断できないことに現場職員に直面しているのが現実です。例えば、行動や思考の混乱により公の場で衣類を脱いだり、頻繁に失禁があったり、入浴しながらいないことや食事にも支援が必要になったり、徘徊や昼夜逆転などの生活を営む上での基本的な行動(ADL)の低下がみられたりします。また、落ち着きがなくなったり、攻撃的になったり、強迫観念・情緒的行動や反復的行動(常同行動)がみられるなど、思考の混乱が起こることや、言葉を思い出せない、簡単なことが理解できないなど、言語の乱れや時間の感覚が失ってきたりもします。

重度知的障害者が高齢期になると、体調の変化により意識喪失、呼吸停止、癲癇発作などがしばしば起こり、施設では見守りや見回り頻度を増やす必要が多くなってきます。ほかに、糖尿病、虚血性心疾患、腸閉そくといった循環器や消化器系疾患等々、定期的に専門的医療がフォローしなければならない病気を持つ利用者が多くなり、健康状態の変化は激しくなってくる人たちが多く見受けられます。しかも知的障害者は、自分が年を取ったという自己認識を持つことが難しいところに、特に認知症を罹患した人は、その人の見合った生活課題や思考様式を見出していくことはさらに困難になり、更には、70歳に差し掛かるころから、回復力や生理的状況を一定に保ったり、持続させる能力が驚くほど弱くなり、怪我や病気をきっかけに全身状態が落ち、ある程度の安定を取り戻した後も、以前のレベルに戻る事ができなくなってくると思われます。そこに認知症による前述した中核症状やBPSD(行動・心理症状)を併せ持ってくると、今まで以上に生活の乱れや混乱を起こして大きな問題と課題をもたらすこととなります。このような事態をしっかりと理解し克服して、支援等そのものを見直し、知的障害者が認知症を罹患してより良い生き方ができる道筋をともに考える研修会として開催いたします。

2. 主催者 熊本県ひのくに知的障害児・者生活サポート協会
3. 主管 第二つつじヶ丘学園
4. 後援 公益財団法人日本知的障害者福祉協会  
九州地区知的障害者福祉協会  
熊本県知的障がい者施設協会  
熊本県手をつなぐ育成会  
熊本県知的障がい児者施設家族会連合会
5. 開催期日 平成30年6月29日（金）～30日（土）
6. 開催場所 ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ  
熊本市中央区東阿弥陀寺町2番地  
電話096-354-2111  
※JR九州「熊本駅」からタクシーで3分、  
熊本阿蘇空港よりリムジンにて45分、  
研修会場ホテル前バス停「ホテル熊本ニュースカイ前」下車
7. 参加対象者 1. 知的障がい児・者施設職員及びその家族  
2. 知的障がい児・者生活サポート協会会員

8. 日程

1日目 6月29日（金） 受付11:30～12:00

基調講演 (テルジス氏) 12:00 ～13:30	休憩 10分	講演Ⅰ (有賀氏) 13:40 ～15:00	休憩 10分	講演Ⅱ (古川氏) 15:10 ～16:30	休憩 10分	講演Ⅲ (松村氏) 16:40 ～18:00	休憩 30分	交流会 18:30 ～20:30
------------------------------------	-----------	---------------------------------	-----------	---------------------------------	-----------	---------------------------------	-----------	------------------------

2日目 6月30日（土） 8:45～

講演Ⅳ (木下氏) 8:30 ～9:50	休憩 10分	シンポジウム 質疑応答 (有賀・古川・木下・松村) 10:00～12:00
-------------------------------	-----------	--

## 第1日目

### 基調講演

講師：Dr. Beata Terzis (テルジス ベアタ) 氏 (スウェーデン)

臨床神経心理学博士

フロズンダ社 認識力・認知症関連問題、特別コンサルタント

テーマ：「知的障害者への認知症介護（認知症に罹患した知的障害者の支援を探る）」

スウェーデンにおける認知症に罹患した知的障害者の（知的機能低下、認知症と知的障害、認知症の兆候、知的障害者の認知症の兆候、睡眠障害、発作、注意力・記憶力、知覚障害、言語障害、日常生活動作（ADL）、行動症状、生活について、また介護と治療、環境（周囲）の在り方、ストレス感知・調整する方法やチームワークの在り方、方法：（観察・分析）→（介入）→（追跡・続行）→（観察・分析）、BPSD記録（NPIとは、目的・NPI記録）、BPSDプログラム等について取り組みの実際を報告。

講演Ⅰ 講師：元 国立重度知的障害者総合施設のぞみの園診療所

Dr 有賀道生 氏

テーマ：「知的障害者の高齢化に伴う医療ニーズの急増と認知症発症の医療的評価とその治療の実際」

知的障害者の高齢化問題は、生活支援の中に、医療や保健、リハビリテーション、精神的なサポートは欠くことのできない問題であり、福祉とともに喫緊の課題である事は皆様お分かりだと思います。「のぞみの園」において、永年にわたり知的障害者や発達障害の診療を行ってこられた有賀先生に、知的障害者の高齢化に伴う認知症の発症や、生活習慣病、悪性腫瘍の罹患等について、医療的評価とその治療等について、下記に整理をして話をさせていただきます。

1. 高齢化の実態・身体、精神面での変化（一般高齢化との差異について）
2. 身体健康上の問題  
最も罹患率の高い身体疾患「誤嚥性肺炎」等について
3. 精神健康上の諸問題

認知症の発症とダウン症のアルツハイマー型認知症等について、背景、疫学、症状・状態像、治療。知的障害と認知症の重複障害について、認知症以外の問題、医療が果たすべき役割等。

講演Ⅱ 講師：独立行政法人国立重度知的障害者総合施設「のぞみの園」  
事業企画部 （研修・養成課長併任）次長 古川慎治氏

テーマ：「のぞみの園における認知症の特性を有する知的障害者の支援の実際」

認知症の特性を有する知的障害者の生活をより豊かなものにする支援のための生活アセスメントの視点と方法や課題について話をしていただき、「のぞみの園」で実践してきた生活支援についての具体的な支援プログラム内容や、住環境の設定、医療行為を含むターミナルケアと意思決定支援、制度上の課題等についても話をしていただきます。

講演Ⅲ 講師：(株) 莫設計同人代表取締役 工学博士 松村正希 氏

テーマ：「高齢期や認知症を発症した知的障がい者の環境を考える」

知的障がい者の高齢期や認知症を発症した人たちの支援についての建築やその環境は意外と深められていなく、当事者や支援者が混乱をきたしている。施設やグループホームで暮らしている人たちも生きている。この「生きる」とはどういうことなのか？また、加齢や認知症による中核症状や BPSD 等が建物や環境により、大きく左右されることがある。そのひとつとして「食べる」事がある。ひとは「食べる」ことができなくなると死に向かって歩みだす。このような事を国内や海外の事例を含めて紹介をして論議を深めていきたい。

講演Ⅳ 講師：武蔵野大学 人間科学部 社会福祉学科准教授 木下大生 氏

テーマ：「知的障害で認知症様症状がある人に対する施設支援の現状と課題—認知症の発見と支援のヒント—」

ダウン症者や知的障害者の認知症については、海外において多く研究がなされています。それを大別すると、疫学研究、知的障害者用認知症判別尺度の開発、支援の方法、であります。ただし、疫学研究と知的障害者用認知症判別尺度に関しては研究蓄積も多く、日本の状況にも援用できる研究結果が示されていますが、支援の方法については海外においても現段階で模索されている状況です。こちらの講演では、海外で示されている疫学研究、知的障害者用認知症判別尺度の中で最新の DSQIID の紹介、及び国内の障害者支援施設に対する全国調査の結果をもとに、障害者支援施設の認知症様症状がある入所者の現状と支援のあり方、また課題について話をさせていただきます。

V シンポジウム(質疑応答)(10:00~12:00)

講演Ⅰ 講演Ⅱ 講演Ⅲ 講演Ⅳの講師登壇

1.講演内容についての若干の補足講義

2.講演内容についてのアンケート及び会場から質疑への応答

9. 参加申し込み

平成30年5月25日(金)までにお申し込みください

参加費 研修会費 8,000円 交流会費 7,000円

「申し込み先(研修会・交流会・宿泊)について

別紙により 名鉄観光株式会社熊本支店

「第2回知的障がい者高齢期支援について」係宛て

〒860-0803 熊本市中央区新市街 11-18

熊本第一生命ビルディング7階(担当堀川)

その他

個人情報の取り扱いについて

この会の参加申し込み書に記載された個人情報は、本研修会の運営管理の目的のみに使用致します。本研修会では参加者名簿を作成しますが、それには施設名、役職名、氏名を掲載致します。

# 第2回知的障がい者高齢期支援について

大会参加・宿泊・交流会

お申し込みのご案内

大会期日：平成30年6月29日（金）～30日（土）

開催地：ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

## 歓迎のご挨拶

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度は、「第2回知的障がい者高齢期支援について」が熊本県熊本市にて開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

大会に参加されます皆様方のお手伝いを名鉄観光サービス株式会社熊本支店にて担当させて頂くことになりました。

つきましては、参加される方々の宿泊・交流会等の手配に関してご案内を申し上げます。皆様方のお越しを心よりお待ちしております。

謹白

名鉄観光サービス株式会社 熊本支店

支店長 對馬 尚武

# 1 大会参加・宿泊・交流会のお申し込みについて

別紙お申込用紙に必要事項を全てご記入のうえ、FAX・郵送にて弊社にお申し込みください。

※お電話での申込・変更・取消はお取り扱い出来ませんのでご注意ください。

※申込書を弊社が受け取った日から1週間以内に受領確認(受付No.記載)をFAXまたは郵送にてお送りいたします。1週間を経過しても受領確認が届かない場合は、弊社担当者までご連絡をお願いいたします。

申 込 先	FAXでのお申込：FAX 送信先 096-354-4359
	郵送でのお申込：〒860-0803 熊本県熊本市中央区新市街 11-18 熊本第一生命ビルディング7階 名鉄観光サービス株式会社 熊本支店 第2回知的障がい者高齢期支援について 係
	申込締切日：平成30年5月25日(金)

◎受付後、大会参加券・宿泊券等及び請求書を6月上旬以降に発送いたします。

◎お支払いは所定の口座へお振込みください。

◎宿泊施設は、先着順とさせていただきます。

※ご希望の宿泊施設が手配出来ない場合は、担当者様へ連絡し調整をさせていただきます。

◎申込書が足りない場合は、コピーしてご利用ください。

## 2 大会参加費

【大会参加費】 8,000円

## 3 交流会のご案内

【設定日】 平成30年6月29日(金)

【会費】 7,000円(お一人様 税付込)

【場所】 ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ

【時間】 18:30~

## 4 宿泊のご案内

【宿泊設定日】 平成30年6月29日(金)

【宿泊料金】 お一人様あたり 1泊朝食付(税付込)

宿泊施設名	部屋タイプ	申込記号	宿泊料金	会場までのアクセス
ANA クラウンプラザホテル 熊本ニュースカイ	シングル	A-1	15,000円	会場
	ツイン	A-2	10,000円	
ザ・ニューホテル熊本	シングル	B	12,000円	市電・徒歩にて約6分
JR九州ホテル熊本	シングル	C	9,000円	市電・徒歩にて約6分
ホテルルートイン熊本駅前	シングル	D	8,000円	徒歩にて約8分

※ 先着順にて受付させていただきますので、状況により他の宿泊施設へご案内させていただく場合がございます。予めご了承ください。

※ 添乗員は同行いたしません。

宿泊施設へのチェックインは、お客様ご自身にてお願いいたします。

※ 最小催行人員：1名様

## 5 取消・変更のご案内

お取消・ご変更の際は、下記のとおり取消料を申し受けますので、ご注意ください。

	21日前	20～8日前	7～2日前	前日	当日	旅行開始後・無連絡
大会参加費	※お支払い後の返金はいたしませんので、予めご了承ください。					
宿泊	無料	20%	30%	40%	50%	100%
交流会	無料	20%	30%	40%	50%	100%

## 6 ご旅行条件について

### ●募集型企画旅行契約

この旅行は名鉄観光サービス㈱が旅行企画・実施するものであり、旅行に参加されるお客様は、当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。

★旅行契約の内容・条件につきましては、大会参加券類送付の際、「詳しい旅行条件書」を同封いたしますのでご確認くださいませよう願ひ申し上げます。

★契約の内容・条件につきましては、お申込前に当社の店頭またはホームページでもご確認くださいませ。

★この旅行条件は、平成30年4月16日を基準日としています。

## 7 個人情報の取扱について

名鉄観光サービス株式会社は、お申込みの際にご提出いただいた個人情報について、お客様との連絡や輸送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及び受領のための手続きに利用させていただくほか、必要な範囲内で当該機関及び手配代行者に提供いたします。また、大会主催事務局に提供いたします。それ以外の目的でご提供いただいた個人情報は利用いたしません。

上記のほか、当社の個人情報の取扱いに関する方針については、当社の店頭またはホームページにてご確認ください。

名鉄観光サービスホームページ (<http://www.mwt.co.jp>) ⇒  
⇒ (TOP ページ最下部) ⇒ 運営、約款、条件書等について ⇒  
⇒ 個人情報保護方針、個人情報保護の対応について

### 【お問い合わせ先】

観光庁長官登録旅行業第55号 (社)日本旅行業協会正会員 ボンド保証会員  
旅行企画・実施

### 名鉄観光サービス株式会社 熊本支店

『第2回知的障がい者高齢期支援について』係

〒860-0803 熊本市中央区新市街11-18 熊本第一生命ビルディング7階

営業時間 平日 月曜日～金曜日 (09:00～17:00) 土・日祝日は休業

TEL : 096-354-4351 FAX : 096-354-4359

Eメール : [tomohiro.horikawa@mwt.co.jp](mailto:tomohiro.horikawa@mwt.co.jp)

総合旅行業務取扱管理者 對馬 尚武

担当 : 堀川 智宏



旅行業公正取引  
協議会 会員

承認番号 : S18-0409



# 第2回 知的障がい者高齢期支援について 参加申込書

送信日: 月 日

締切日 平成30年5月25日(金)

都道府県名	フリガナ	フリガナ	担当者
住所 (書類送付先)	〒( )		TEL
			FAX
			E-Mail

申込先  
【FAX】 096-354-4359  
【E-Mail】 tomohiro.horikawa@mwt.co.jp

No.	名前 フリガナ	性別	役職	大会参加 8,000円	交流会 7,000円	宿泊		備考 (同室希望者等)
						希望	6月29日(金)	
例	クマモト タロウ 熊本 太郎	男・女	施設長	○	○	第1希望 第2希望	A-1 B	禁煙・喫煙
1		男・女				第1希望 第2希望		禁煙・喫煙
2		男・女				第1希望 第2希望		禁煙・喫煙
3		男・女				第1希望 第2希望		禁煙・喫煙
4		男・女				第1希望 第2希望		禁煙・喫煙
5		男・女				第1希望 第2希望		禁煙・喫煙

ご返金が生じた場合のお振込先

銀行名	支店名
口座種目・口座番号	
口座名義	

- ◎ 本件内の記入をお願いします。
- ◎ 用紙が足りない場合は、コピーしてお使いください。また、必ずご自身でも控えをお取りください。
- ◎ 宿泊は部屋数に限りがございますので、第1希望もご記入下さい。同室者がある場合は、備考欄に同室者のお名前をご記入ください。
- ◎ 禁煙・喫煙はご要望として承りますが、ご希望通りにならない場合がございます。
- ◎ ご記入いただいた個人情報、研修手続き及びご旅行の手配業務のために利用いたします。
- ◎ 追加・変更・取消の場合はお申込書控えにご記入の上、必ずFAXまたはE-Mailにてご連絡ください。

【申込先/取消変更先】  
〒860-0803 熊本県熊本市中央区新市街11-18  
名鉄観光サービス(株)熊本支店  
『第2回 知的障がい者高齢期支援について』係  
担当: 堀川 智宏  
TEL: 096-354-4351 FAX: 096-354-4359  
E-Mail: tomohiro.horikawa@mwt.co.jp